

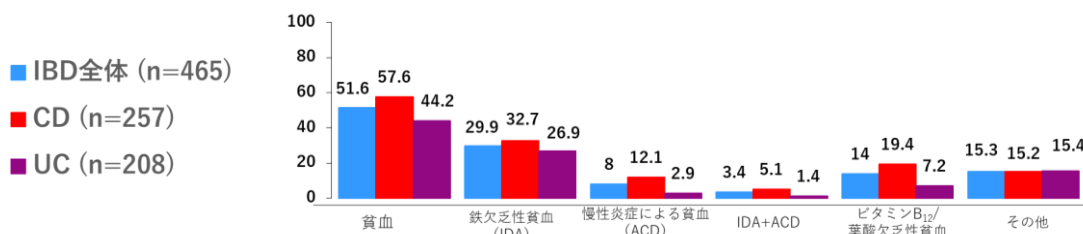
今回は「炎症性腸疾患と貧血」です

炎症性腸疾患 (IBD) とは

炎症性腸疾患とはクローン病 (CD) と潰瘍性大腸炎 (UC) の総称であり、原因不明の慢性腸管炎症性疾患です。近年患者数が増加しており、**国内で30万人を超えています**。

IBDと貧血

IBD患者には高率 (40-50%) に貧血を合併します。最も頻度が高い貧血の種類は**鉄欠乏性貧血 (IDA)** と慢性炎症による貧血です。貧血を放置すると倦怠感・易疲労などQOLに影響を及ぼすので、早期に発見・治療する事が重要です。



IBDにおけるIDAの基準

フェリチンの正常値は25-250 ng/mLですが、IBD患者の貧血にはフェリチンが正常でも、鉄欠乏状態が潜んでいます。特に慢性的な腸管炎症があるIBD患者で貧血を認める場合には、**フェリチン100 ng/mL以上を目標に補充治療**を行いましょう。

IDAの治療薬

非活動期 or 炎症軽度



一般名	商品名
クエン酸第一鉄ナトリウム製剤	フェロミア®錠50mg・フェロミア®顆粒8.3%
硫酸鉄徐放錠	フェロ・グラデュメット®錠105mg
フマル酸第一鉄カプセル	フェルム®カプセル100mg
溶性ピロリン酸第二鉄シロップ	インクレミン®シロップ5%
クエン酸第二鉄水和物	リオナ®錠250mg

活動期 or 経口鉄剤不耐 or
Hb < 10 g/dL



一般名	商品名
含糖酸化鉄注射液 (SFO)	フェジン®静注40mg
カルボキシマルトース第二鉄注射液 (FCM)	フェインジェクト®静注500mg
デルイソマルトース第二鉄注射液	モノヴァー®静注500mg・モノヴァー®静注1000mg

疾患活動性や貧血の重症度に合わせた鉄補充を行いましょう。
フェインジェクトやモノヴァーは週1回の点滴で治療が完了するため、
外来で重度の貧血治療を行う際に有用です。

文責：内藤 健夫
(消化器内科)